



『朝日工業グループ 健康宣言』

朝日工業グループは、従業員一人ひとりの健康が会社の発展に繋がると認識しております。

このため、当グループでは、心身ともに健康で生き活きと働くための健康づくりを「経営上の課題」と位置付け、従業員一人ひとりが自己の健康管理が出来る様に促すなど健康の維持・増進のために取り組んでいきます。

重点方針

1. 健康管理の徹底
定期健康診断の受診率100%の継続と診断結果へのフォローアップを徹底し、従業員が自律的に健康管理できる様にサポートします。
2. 健全なメンタルヘルス維持
毎年のストレスチェック実施とフォローアップを行い、メンタル不調防止の支援など健全なメンタルヘルス維持に努めます。
3. 長時間労働の防止
適正人員の確保と業務改善を進め、残業時間の低減を推進します。
残業時間が一定時間を超えた場合は、本人による「労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリスト」を実施し、必要に応じ産業医による面談も行っています。
また、「アニバーサリー休暇制度」や「半日有給休暇」の導入による有給休暇取得を促進します。
4. 従業員による健康宣言
従業員自ら健康保持・増進に関する目標を設定して頂き、人から言われてやるのではなく、主体的に健康行動がし易い環境を提供します。

従業員の健康は、従業員自身や家族の幸福の基盤であると同時に当グループの発展の基盤であると考え、今後も一層の健康経営を推進し、企業価値の向上に努めていきます。

2018年8月1日

朝日工業株式会社
代表取締役社長

村上政徳